

Markdownでスライド＋執筆

藤原 惟

(藤原 由来, Twitter: sky_y)

Markdownスライドの現状

- reveal.js (HTMLスライド)が最強
 - Markdownからreveal.jsに変換する手段がたくさん
 - Webベースでもreveal.jsバックエンドが多数

Markdownスライド: Pandoc

- reveal.jsに変換するのがベター
- Pandoc 2.0.5でPowerPoint出力に対応
 - 今動いているのがPowerPointです
 - デザインの調整は追って調査します

Pandoc: pptxのデザイン

- 画面比の指定 (YAML metadataの `aspectratio`) → 無効
- `$ pandoc --print-default-data-file reference.pptx > reference.pptx`
 - `reference.pptx`をカスタマイズしてデザインを設定できるはずだが . . .
 - PowerPointで開くと壊れてる (！？)
 - LibreOffice Impressで開くしかなさそう？

Markdownスライド: MPE

- [Markdown Preview Enhanced](#) (MPE)
 - VS Code/Atomのプラグインとして利用可能
 - すごく高機能なMarkdown処理系
 - 個人的にはVS Codeで使っています
- [mume](#)
 - MPEのコアにあたる変換エンジン (npmパッケージ)
 - 変換処理をスクリプト化するときには便利
- GitHub Pages: 静的ホスティング

参考：スライドのGitHubリポジトリ

- <https://github.com/sky-y/histudy-201712>
- GitHubリポジトリさえ設定できてれば、基本的には`npm run all`でスライド生成→デプロイまで完結します
- あとで整備して、ボイラープレートとして使えるようにしたい

執筆

– 書いてます

- noteマガジン: [文系のためのMarkdown入門](#)

– noteはMarkdownに未対応なので、人力Markdown処理系で変換

- 運営はMarkdownエディタに前向き？

執筆お助けツール

– textlint

- 英語・日本語の文法誤りをしてくれるツール
- プラグインでスタイルやルールをインストールできる
- [Collection of textlint rule](#)・[textlint/textlint Wiki](#)

– prh

- textlintと組み合わせて使う
- 辞書を作っておくと、用語の誤りを指摘してくれる
- [サンプルルール](#)のtechboosterだけでもかなり使える

執筆のためのCI

– 技術書界隈でCIが流行ってる

- 原稿をPush→完成品に近いPDF生成
→GitHub/BitBucketのIssue/PRでフィードバック
- [技術書同人誌を書きましょう！ - Qiita](#)

– 執筆CIのメリット

- 原稿を書いた片っ端から編集者さんが随時校正できる
 - 執筆フローは、伝統的にはウォーターフローモデル
- リモートでの共同執筆やチームプレイが円滑になる

執筆に関するおすすめ資料

- 【もくもく執筆会】執筆お疲れさま！歓談<パーティー
 - 資料一覧 に上がってるLT資料が良い

おわり